

<p>単元名「町じまん」を一つ選んで、推薦しよう</p> <p>教材 ・「わが町ベストスリー」を決めよう(教育出版5年上)</p> <p>・「方言と共通語」</p>
<p>児童の実態</p> <p>本学級の児童は、「話すこと、聞くこと」に課題をもつ児童が多い。自分の考えを積極的に発表しようとする児童も少なく、大きな声ではっきりと発表することが身に付いていない児童が多く見られる。4年生では、「調べてわかったことを発表しよう」で、調べたことについて写真やグラフなどの資料をもとに筋道を立てて説明したり、話の中心に気をつけて聞いたりすることについて学習している。児童にとって、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫して話すことは初めての学習で、収集した知識や情報を関係付けることに関しては能力差が大きい。「書くこと」については、手順を明確に示すと意欲的に取り組める。さらに、新しい課題に挑戦しようと努力する態度も見られる。</p> <p>以上の実態を踏まえて、本単元では、目的や意図に応じて、内容を効果的に伝えるための順序を教師のグッドモデルで示し、話し方の工夫を考え、構成メモに書かせた後で、充分練習させ、話せる力を身に付けさせたい。また、この活動を通して、声の大きさや、速さ、間の取り方についても工夫できるようにしたい。</p>
<p>単元のゴール</p> <p>相手に伝わる話し方の工夫を見つけ、推薦するものについて話すことができる。</p> <p>(1)自分が推薦するもののよさが伝わるように話そうとしている。(関心・意欲・態度)</p> <p>(2)推薦するもののよさが伝わるように話の構成や納得するための話し方を工夫することができる。(話すこと、聞くこと イ)</p> <p>(3)どこが納得できてどの点が支持できるか気をつけて聞くことができる。(話すこと、聞くことエ)</p> <p>(4)方言と共通語の、それぞれの特徴とよさを知り、日常の言葉を見直し、適切に使おうとすることができる。(話すこと、聞くこと ウ)</p>
<p>課題</p> <p>①林間学校で自分の学校紹介を行います。八基地区でじまんでできるものを一つ選んで、クラスの友達が納得できるように話しましょう。(パフォーマンステスト①)</p> <p>②友達のスピーチを聞き、他の学校の友達に八基のよさが伝わるベストスリーを選びましょう。(パフォーマンステスト②)</p>
<p>言語活動</p> <p>○本単元では、林間学校で、自分の学校紹介を行うために、5年1組が選んだ「わが八基ベストスリー」を決める。ふるさとを愛する気持ちをもって、八基地区で自慢できるものを1つ選ぶ。⇒よさを見直すために、調べたり、インタビューしたりする。⇒聞き手を説得するための理由をメモにまとめ、効果的に伝えられる順番を考える。⇒発表の構成を決める。⇒友達の発表を聞いて、八基地区で自慢できるものベストスリーを決める。⇒相手に伝わる話し方を身に付けることで、他教科や生活に役立てていく。また林間学校で自信をもって他校に発表できる。</p>

時間	課題	学習内容	授業後の児童の姿
1	◎「林間学校で、自分たちの学校をするために、わが八基ベストスリーを決めよう」という、目的や内容を知り、聞き手を意識する。	○学習の見通し ・推薦する内容 ・グッドモデルのスピーチの仕方	・八基地区で自慢できるものを、いつ、誰に伝えるか、目的がわかり、何を町自慢に選ぶか、考え始めている。
2	◎教科書「わが町ベストスリーを決めよう」を読み、推薦するときの大事な点をつかむ。	○スピーチの構成や話し方 ・話題提示の仕方 ・統括型と双括型 ・強調する話し方、繰り返し	・教科書のスピーチの発表例をもとに、推薦の内容や話すときのポイントを理解している。
3	◎自分が推薦するものを決め、推薦理由も考える。	○推薦理由の考え方 ・特長 ・自分の体験 ・見聞きしたこと ・友達に提供できる資料 ・さらに詳しく調べる方法	・自分にとって最も推薦したいものを決定している。選んだ「じまん」について理由を明確にし、もっと知りたいことをはっきりさせ、それを調べる方法を考えている。
4	◎推薦するときのポイントを意識して自分のスピーチメモを作る。⇒家の人に聞いてもらう	○スピーチの構成や話し方 ○メモの作り方	・聞き手を説得するために効果的な構成を考えている。
5	◎グループ内で発表を行い、お互いのスピーチがわかりやすい内容になっているか交流する。 ◎交流をもとに自分のスピーチの中身を見直す。⇒家の人に聞いてもらう	○聞き方・交流の仕方 ・推薦理由が納得できるか ○交流の仕方 ・よい点の取り入れ方	・よいスピーチの共通点は何かがわかる。
6	◎推薦の発表を行い、自分たちの「わが八基ベストスリー」を決める。(パフォーマンステスト①)	○推薦するもののよさが伝わる話し方 ○友達の発表の聞き方	・メモや書き込みをもとに、聞き取りメモをもとに、推薦の発表をしている。「ベストスリー」を決める話し合いをしている。
7	◎「方言と共通語」を読み、方言と共通語について理解する。	○方言と共通語の違い	・相手や目的、状況に応じて方言や共通語を使い分けることを理解している。
林間学校	◎他の小学校の友達に「わが八基ベストスリー」を発表する。	○説得力のある話し方 ○他校のよさの聞き方	・聞き手の反応を確かめている。 ・他校との相違点や共通点を見つけている。

聞く力、話せる力の構築へ 聞き手を納得させる話し方、声の大きさ、間の取り方等意識して話せるように、帰りの会でテーマを決めて、スピーチ活動を行う。日常生活へ今回学んだ訴えたい思いが伝わるような話し方を、社会科や算数、総合的な学習の時間等其他教科に活かす活動を続けていく。

すいせんするものよさが伝わる話し方になっているか、聞き合おう。

本時の展開

前時の概要	
<p>自分が推薦するときのポイントを意識してスピーチメモを作ろう。</p> <p>聞き手を説得するために効果的な構成を考え、構成メモを作った。早さや間、強調などに気を付けて練習し、家の人に聞いてもらった。</p>	
本時の板書計画 (5/7)	
今後の展開	主体的・対話的で深い学びについて☆
<p><u>期待する児童の姿</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家の人にスピーチを聞いてもらい、安心して大きな声で発表できるようになったところで、クラス皆の前で堂々と発表できるようになる。 <p><u>次時の学習課題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員が一人一つ、推薦するものを発表しよう。 	<p><u>☆主体的・対話的で深い学びについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・印象に残った話し方などについてメモをとらせることで、聞き手を説得するための効果的な話し方の振り返りにつなげていく。 ・交流で指摘された点や、友達のスピーチを聞いてよかった点を自分のスピーチに生かす。

学習活動	学習内容	指導上の留意点
1 本時の活動の確認をする。		・本時はお互いのスピーチ内容がわかりやすい内容が交流し、スピーチメモを見直す時間であることを確認する。
2 本時の課題を把握する。		
3 教師のグッドモデルのスピーチを聞き、メモの取り方や交流の手順を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○交流の手順 ・話し手がスピーチ ・聞き手はメモ ・交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞く視点を提示する。 ・話し手の推薦理由で納得できた部分はどこか。(赤の付箋にメモ) ・改善点(わかりにくい点)はどこか。(青の付箋にメモ) ・話の始め方を示すことでスムーズに始められるようにする。
4 一人ずつスピーチをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○聞き手を説得する話し方 ○聞き方 (納得できるか、わかりにくい) 	
5 グループで交流を行い、お互いのスピーチについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○交流の仕方 ・発表、質問 	
6 交流をもとに自分のスピーチメモを見直す。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 説得力のある話し方 ○ 良い点の取り入れ方 	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋を見ながら良かった点を伝えたり、納得できない点を質問したりする。 ・友達にアドバイスしてもらった点だけでなく、友達のスピーチでよかった点も生かせるように助言する。 ・交流をもとにスピーチ内容が工夫されたものになるよう見直しをさせる。
7 まとめ、振り返りをする。	○振り返りの書き方	
8 次時の課題を把握する。	・本時の学習の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを伝えることができたか。 ・自分のスピーチを工夫することができたか。 ・次時は、全員が一人ずつ推薦の発表を行い、わが八基ベストスリーを決めることを伝える。

まとめ 特にうったえたいところを強調し、相手を意識した理由を伝えると、すいせんするものよさが伝わる。